

平成29年10月22日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙

鳥取県第2区選挙公報

鳥取県選挙管理委員会

比例代表も
自民党へ



国民の安心・安全と活力の政治

赤沢りょうせいは、我が国の独立と平和を確保し、経済成長を通して、輝く日本、輝く鳥取県の実現を目指します。



自民党公認・党総務副会長

赤沢りょうせい

あかざわ

我々の子や孫の世代に
豊かで、安心・安全な日本を
引き継ぐための

赤沢りょうせい 六つの決意

- 1 北朝鮮に対する国際社会の一致結束した圧力強化により、すべての核・弾道ミサイル計画を放棄させることを目指すとともに、拉致問題の早期解決に全力を尽くします。
- 2 財政健全化と社会保障の安定を実現し、医師、看護師、介護士や保育士の方々の社会保障関係者の処遇改善を目指します。
- 3 防災立国の確立や国土強靱化を進め地域の中小建設企業者を応援します。
- 4 食料の安定供給を実現し、農林水産分野で食料生産に携わる皆様を応援します。
- 5 東京一極集中を是正し、地方創生、地域の活性化や合区を解消し、地方が輝く社会を実現します。
- 6 少子化対策、子供子育て支援、女性活躍推進などを通して、女性も男性も輝く社会を実現します。働く女性だけでなく、専業主婦、子育て中のお母さん、シングルマザー、非正規労働で働く女性もすべて応援します。

赤沢りょうせい（略歴）

1960年12月	赤沢正道(元自治大臣)の孫として生まれる
1984年3月	東京大学法学部卒業
1984年4月	運輸省入省(現国土交通省)
1991年	米国コーネル大学経営学修士(MBA)取得
2002年8月	国土交通省大臣官房総務課企画官
2004年7月	日本郵政公社郵便事業総本部 国際本部海外事業部長(物流戦略担当)
2005年9月	第44回衆議院選挙に鳥取2区から立候補、初当選
2009年8月	第45回衆議院総選挙において小選挙区で当選(2期目)
2012年12月	第46回衆議院総選挙において小選挙区で当選(3期目)
2013年10月	国土交通大臣政務官に就任
2014年9月	自民党国土交通部長に就任
2014年12月	内閣府副大臣に就任
2014年12月	第47回衆議院総選挙において小選挙区で当選(4期目)
2014年12月	内閣府副大臣に再任
2016年1月	衆議院環境委員長に就任
2017年9月	自民党総務副会長
2017年9月	自民党農林部会畜産・酪農対策委員長

赤沢りょうせい ホームページ

<http://www.ryosei-akazawa.com>

次世代への責任

～人への投資が、未来をつくる。～

今の自民党は以前の自民党と違い、市場原理・競争原理で国づくりをし、大都市・大企業・お金持ちを優先しています。

私は、今の自民党政権が続けば続くほど、国民も生活は自己責任化され、格差・雇用・安全保障面などでアメリカ型の国づくりに近づいていくと懸念します。私は、頑張った人が報われると同時に、国民全体で支えあうヨーロッパ型の国づくりを目指します。

次世代の未来を 考えれば 今、すべきことが見えてきます。

- 中央集権から地域主権の国づくりへ変えます。
- 議員定数を削減し、天下りや税金のムダ使いを見直し、次世代にこれ以上の借金を増やしません。
- 小中学校の給食費無償、給付型奨学金制度など、教育の無償化を図ります。
- 子どもの頃から社会政治に関心をもつようシティズンシップ(主権者)教育を促進します。
- 基礎年金は減らさず、株式運用の割合を減らし、リスクの少ない運用に改めます。
- 中小零細企業が負担する社会保険料等を軽減し、中小零細企業を応援します。
- 憲法違反の安保法制に反対し、見直す。
- 所得格差の連鎖・固定化を止め、子どもの貧困を解消します。
- 自然エネルギーを最大限導入し、脱原発を図ります。
- 農家の戸別所得補償制度を復活し、農家と農村を守ります。

湯原俊二の経歴

- 1962年(昭和37年) 專業農家に生まれる
- 米子東高校、早稲田大学卒業
- 28歳で米子市議会議員に
- 32歳で鳥取県議会議員に、以後4期当選
- 2009年 衆議院議員に

湯原俊二
公式サイト



www.yuhara.net



希望の党公認

湯原俊二

政治は、政治家や大企業のためにあるのではなく、国民の暮らしを守るためにある。

市民と野党の共闘+日本共産党の躍進で……… 安倍政権に「退場」の審判を下しましょう



福住ひでゆき

ふくずみ美行
日本共産党

代表は
みなさんの一票一票が、必ず議席に結びつきます。

日本共産党と政党名をお書きください

▼北朝鮮—平和的解決を
米朝の直接対話を求めます
軍事衝突は絶対にダメ。世界中が求める「対話」を9条もつ日本が働きかけます。

▼8時間はたらけば
普通に暮らせるまともなルールを
予算の主役は暮らし・福祉に。過労死やワーキングプアのない社会をめざします。

▼9条改憲は許さない
憲法は世界に誇る日本の「宝」
「戦力をもたない」「交戦権は認めない」。
世界が目指す大原則を守り抜きます。

▼消費税10%は中止
増税するなら富裕層・大企業に
税金は能力に応じて負担を。軍事費や公
共事業のムダを見直します。

政治を私たちの手に

①ひどすぎる「森友・加計」隠し
「お友だち」のために政治をゆがめ、国会での追及を恐れに逃げ込む。うやむやにするわけにはいきません。

②格差ひろげたアベノミクス
家計消費は40カ月近くマイナス。大企業と富裕層は大もうけ。こんな政策は転換させましょう。

③「戦争する国」にひた走る
秘密法、安保法制—戦争法、共謀罪—憲法違反の強行が相次ぎました。これらはすべて、海外での戦争につながるもの。絶対に許せません。

安倍政権3つの大罪

あまりにも自分勝手なやり方に、「安倍政治はたいへん心配」という声があがっています。私はみなさんと、憲法が生きる新しい政治をめざします。

略歴 1975年生まれ41歳。車尾小、東山中、米子東高、千葉大学卒。妻、1男2女と、米子市車尾在住。党県常任委員。



衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 10月22日(日)



第2区 米子市・境港市・西伯郡・日野郡
東伯郡(湯梨浜町・琴浦町・北栄町)

第1区 鳥取市・倉吉市・岩美郡・八頭郡
東伯郡(三朝町)

投票時間は、投票所により異なることがあります。
(午前7時から午後8時までの投票所と、これと異なる投票時間の投票所がありますのでご注意ください。)

投票用紙は
小選挙区選挙がピンク色、比例代表選挙があさぎ色、
最高裁判所裁判官国民審査がうぐいす色の用紙です。